

平成31年度復興促進「商品づくり・販路開拓」支援事業
(販路開拓活動支援メニュー) 補助金交付申請書

平成31年4月10日

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

住 所 仙台市青葉区本町三丁目〇番×号
申請者 名称及び 食産業振興株式会社
代表者名 代表取締役 泉 花子 印

平成31年度において、下記のとおり復興促進「商品づくり・販路開拓」支援事業（販路開拓活動支援メニュー）を実施したいので、補助金等交付規則第3条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 補助事業の目的

「〇〇商談会2020」及び「〇〇百貨店東北物産展」への出展により、自社商品をPRし、首都圏における認知度の向上を図り、東日本大震災で失った販路の回復を目指すとともに、新規取引先の開拓を行う。

2 補助事業に要する経費及び補助金交付申請額

- | | |
|--------------------|-----------|
| (1) 補助事業に要する経費 | 669,480 円 |
| (2) (1)のうち補助事業対象経費 | 669,480 円 |
| (3) 補助金交付申請額 | 300,000 円 |

3 補助事業の内容等

別添のとおり

4 補助事業完了予定期日

平成32年3月20日

※添付書類

- (1) 補助事業計画書（別記様式第1号－別紙1）
- (2) 事業スケジュール（別記様式第1号－別紙2）〔販路開拓活動が複数回の場合〕
- (3) 暴力団排除に関する誓約書（別記様式1号－別紙3）
- (4) 株主等一覧表（別記様式1号－別紙4）
- (5) 事業主体の概要がわかる資料
- (6) 直近3期分の決算報告書の写し又は総会資料等
- (7) 登記事項証明書〔法人の場合〕、代表者の住民票抄本〔個人の場合〕又は規約、会則等〔任意団体の場合〕
- (8) 納税証明書（すべての県税）
- (9) 被災状況が確認できる書類
- (10) 販売会や展示・商談会等の開催内容及び出展小間料等がわかる資料
- (11) 主な出展商品の商品カタログ等
- (12) 事業費積算の根拠
- (13) その他知事が必要と認める書類

補助事業計画書

1 申請者概要

申請者名称 食産業振興株式会社			
代表者氏名 代表取締役 泉 花子		担当者氏名 若林 三郎 (所属部署名) 営業部	
所在地 〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目〇番×号 TEL : 022-211-2812 FAX : 022-211-2819			
ホームページアドレス	http://www.pref.miyagi.jp/	E-mail	s-business@pref.miyagi.jp
設立年月日 昭和31年 4月 1日	資本金 15,000 (千円)	従業員数 常時 : 10人 臨時 : 10人	
みなし大企業	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない		
主な事業の概要 宮城県沖で漁獲された水産物を活用した加工食品の製造・販売			

2 販路開拓活動の内容

活用する地域の食材	宮城県産の〇〇〇, △△△
販売会・商談会等の名称 (注)	別紙2 事業スケジュールのとおり
販路開拓活動の期間・日数	平成31年8月8日から平成32年2月16日まで (延べ6日間)
開催場所	別紙2 事業スケジュールのとおり
主な販売・出展物の概要	(商品名/定価 (税込み) /原材料等) (1)「〇〇〇の〇〇漬け」/ 540円/ 〇〇〇, □□□ほか (2)「△△△の〇〇干し」/ 1,080円/ △△△, □□□ほか (商品の特徴) (1)宮城県産〇〇を本来の触感を味わえるよう原材料を厚切りにして, 自社開発した秘伝のタレに漬け込んだ製品。 (2)原材料である宮城県産△△や使用する調味料までのすべてにこだわり, 一品一品手造りで仕上げた製品。
販路開拓活動の必要性	(現況及び販路開拓活動の必要性, 狙い等を具体的に記載する。また, 団体については, 販路開拓活動に参加する構成員の名称を全て記載する。) 東日本大震災により, 復旧まで製造を休止していた期間に, 首都圏へ納入していた当社製品が他産地の商品に変更され, 従来の販路を失ってしまった。生産再開後も失った取引先が戻らないことから, 今回, 商談会や販売会に自社製品を出品し, 自社製品の良さを伝えることで, 新たな販路を開拓したい。
取引先としたい相手先 (業種) 等	首都圏のこだわり食材等を取り扱う百貨店やスーパー, 外食産業等

(注) 販路開拓活動を複数回計画している場合は, 「別紙2 事業スケジュールのとおり」と記載し, 別記様式第1号一別紙2に必要事項を記載すること。

3 事業費等

(1) 収入の部

(単位:円)

区 分	予算額	積算明細	摘 要
県補助金	300,000	補助対象経費 669,480円×1/2	上限適用
自己負担	369,480	全体事業費 669,480円－300,000円	
合 計	669,480		

(2) 支出

(単位:円)

経 費 項 目	内 容	事業費	積算明細
旅 費	交通費	84,480	①〇〇百貨店東北物産展 ・仙台－東京往復 @20,370円×2人 ・東京－会場往復 @1,000円×2人 ②〇〇商談会 2020 ・仙台－東京往復 @20,370円×2人 ・東京－会場往復 @500円×2人
	宿泊料	80,000	①〇〇百貨店東北物産展 ・@10,000円×2人×2泊 ②〇〇商談会 2020 ・@10,000円×2人×2泊
庁 費	出展小間料	100,000	②〇〇商談会 2020 ・@100,000円×1小間
	備品レンタル使用料	50,000	②〇〇商談会 2020 ・冷蔵ケース @50,000円
	電気工事費	20,000	②〇〇商談会 2020 ・電気工事費 @20,000円
	搬送経費	15,000	①〇〇百貨店東北物産展 ・@1,500円×5個 ②〇〇商談会 2020 ・@1,500円×5個
	PR用試供品費 (消耗品含む)	120,000	①〇〇百貨店東北物産展 ・〇〇の〇〇漬け@300円×試食用100袋 ・△△の〇〇干し@600円×試食用50袋 ②〇〇商談会 2020 ・〇〇の〇〇漬け@300円×試食用100袋 ・△△の〇〇干し@600円×試食用50袋
	印刷費	200,000	〇共通経費 ・会社案内パンフレット@150,000円(1,000部) ・商品チラシ@25,000円×2種(各1,000枚)
合 計		669,480	

(注) PR用試供品費に補助対象外の経費がある場合は、「事業費」に補助対象経費を内書きで括弧書きすること。

事業スケジュール

事業者名：食産業振興株式会社

	事業内容	備考
4月		
5月		
6月		
7月		
8月	① ○○百貨店東北物産展 平成31年8月8日から8月10日まで（延べ3日間） ○○百貨店○○店（東京都○○田○○町○丁目○-○）	
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月	②○○商談会2020 平成32年2月14日から2月16日まで（延べ3日間） 東京○○展示場（東京都○○田○○町○丁目○-○）	
3月		

誓約書

- 私
 当社

は、下記1及び2のいずれにも該当せず、将来においても該当しないことを誓約します。
この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。
また、貴職において必要と判断した場合に、別紙「役員等名簿」により提出する当方の個人情報を警察に提供することについて同意します。

記

- 1 補助事業者として不適当な者
 - (1) 暴力団（暴力団排除条例（平成22年宮城県条例第67号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等（同条例第2条第4号に規定する暴力団員等をいう。以下同じ。）であるとき
 - (2) 事業者（暴力団排除条例第2条第7号に規定する事業者をいう。以下同じ。）の役員等（個人である場合はその者、法人その他の団体である場合は役員（業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、当該団体に対し業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者と同等以上の支配力を有するものと認められる者を含む。）をいう。以下同じ。）が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員等を利用するなどしているとき
 - (3) 事業者の役員等が、暴力団又は暴力団員等に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
 - (4) 事業者の役員等が、暴力団又は暴力団員等であることを知りながらこれを不当に利用するなどしているとき
 - (5) 事業者の役員等が、暴力団又は暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有しているとき
- 2 補助事業者の相手方として不適当な行為をする者
 - (1) 暴力的な要求行為を行う者
 - (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為を行う者
 - (3) 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為を行う者
 - (4) 偽計又は威力を用いて補助事業を担当する県職員等の業務を妨害する行為を行う者
 - (5) その他前各号に準ずる行為を行う者

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

平成31年4月10日

住所（又は所在地） 仙台市青葉区本町三丁目〇番×号
社名及び代表者名 食産業振興株式会社
代表取締役 泉 花子 印

※ 添付書類：役員等名簿

「役員等名簿」

事業者名	食産業振興株式会社
担当者 役職・氏名	営業部 若林 三郎
電話番号	022-211-2812

人数	氏名(フリガナ)	氏名(漢字)	生年月日(半角)				性別 男・女	商号又は名称	住所 (本社住所)
			元号	年	月	日			
例	ミヤギ タロウ	宮城 太郎	明治・大正 昭和・平成	47	11	11	男・女	ミヤギ タロウ	宮城 太郎
1	イズミ ハナコ	泉 花子	明治・大正 昭和・平成	27	3	3	男・女	食産業振興株式会社	仙台市青葉区本町三丁目〇番×号
2	アオバ イチロウ	青菜 一郎	明治・大正 昭和・平成	27	5	5	男・女	食産業振興株式会社	仙台市青葉区本町三丁目〇番×号
3	タイハク ジロウ	太白 次郎	明治・大正 昭和・平成	37	11	11	男・女	食産業振興株式会社	仙台市青葉区本町三丁目〇番×号
4	ナガマチ カワコ	長町 川子	明治・大正 昭和・平成	37	8	25	男・女	食ビジネス株式会社	仙台市青葉区上杉二丁目△番□号
5			明治・大正 昭和・平成				男・女		
6			明治・大正 昭和・平成				男・女		
7			明治・大正 昭和・平成				男・女		
8			明治・大正 昭和・平成				男・女		
9			明治・大正 昭和・平成				男・女		
10			明治・大正 昭和・平成				男・女		

株 主 等 一 覧 表

平成31年4月10日

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

住 所 仙台市青葉区本町三丁目〇番×号
申請者 名称及び 食産業振興株式会社
代表者名 代表取締役 泉 花子 印

No.	氏 名	住 所	持株数	比率	備 考
1	宮城野 太郎	仙台市宮城野区宮城野二丁目〇番×号	500	30%	
2	(株)グランディ	宮城郡利府町菅谷字館〇番×号	1,000	70%	資本金 1,500 千円 従業員数 30 人

※ 株主，出資者が法人の場合は，備考欄にその法人の資本金又は出資金(千円)及び従業員数を記入すること。